



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 福留ハム株式会社
 コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 修治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務経理部長 (氏名) 加藤 博美
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 082-278-6161

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,105	△3.0	107	△47.3	126	△47.1	154	△10.5
29年3月期第2四半期	13,517	△5.8	204	△35.1	239	△29.8	172	△15.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 349百万円 (430.8%) 29年3月期第2四半期 65百万円 (△84.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	46.37	—
29年3月期第2四半期	51.82	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。当該株式併合が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,947	6,551	36.5
29年3月期	17,064	6,252	36.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,550百万円 29年3月期 6,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。年間配当金合計は、単純に合算できないため「—」と記載しております。なお、この内容につきましては、配当金額総額の予想を見直すものではありません。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	△1.9	220	△38.4	250	△43.7	230	△24.1	67.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,400,000 株	29年3月期	3,400,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	62,575 株	29年3月期	62,535 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,337,450 株	29年3月期2Q	3,338,104 株

※平成29年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合がおこなわれたと仮定して算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月24日開催の第66回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末配当 3円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 13円53銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益の好調の持続や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移したものの、引き続き将来不安等からくる節約志向や米国の政治動向、中国の景気失速懸念、さらには北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学リスク等の海外経済の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の低価格志向や競合他社との価格競争も激化し、さらに国内食肉相場は高値が継続するなど、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、創業100周年に向けて経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続してまいりました。

販売に関しましては、「花ソーセージ」シリーズのテレビCM放映に続き、「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映を開始し販売強化を図るとともに、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズやオリジナル商品「花ソーセージ」、熊本地震復興支援の一環として「くまもんウインナー」などの販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、131億5百万円(前年同四半期比3.0%減)となりました。利益につきましては、営業利益は1億7百万円(前年同四半期比47.3%減)、経常利益は1億26百万円(前年同四半期比47.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、広島市の社宅跡地売却にともない固定資産売却益を計上したことなどにより、1億54百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向が続くなか、重点商品の販売に注力し、「JAS特級あらびきポークウインナー」、「JAS上級あらびきポークウインナー」及び「ローストビーフ」が堅調に推移いたしました。全体の落ち込みをカバーするまでには至らず、売上高は減少いたしました。

利益面においては、原材料価格の上昇や動力費等、製造コストの上昇により前期を下回る結果となりました。

その結果、売上高は57億92百万円(前年同四半期比5.2%減)、セグメント利益(営業利益)は2億63百万円(前年同四半期比36.5%減)となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛肉は、相場の高騰により消費の縮小が進み、販売頭数の減少や企業間競争の激化等により、売上高、販売量ともに減少いたしました。国産豚肉は、国産牛肉の代替需要により、売上高、販売量ともに増加しましたが、国内豚肉相場の高値継続により利益は減少いたしました。輸入ミートにおいては、輸入牛肉の売上高は伸び悩みましたが、輸入豚肉は好調に推移し、売上高・販売量ともに増加し、セグメント利益に大きく貢献いたしました。

その結果、売上高は73億12百万円(前年同四半期比1.2%減)、セグメント利益(営業利益)は1億7百万円(前年同四半期比24.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産等の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億83百万円増加の179億47百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加の80億30百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金6億18百万円、商品及び製品49百万円、原材料及び貯蔵品32百万円の増加及び現金及び預金3億19百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億97百万円増加の99億16百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物3億30百万円、機械装置及び運搬具1億12百万円、投資有価証券2億74百万円の増加及び有形固定資産のその他1億22百万円、繰延税金資産91百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億83百万円増加の113億95百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億80百万円増加の82億34百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金5億83百万円、その他流動負債62百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少の31億61百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億17百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億99百万円増加の65億51百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金1億83百万円及び利益剰余金1億4百万円の増加によるものであります。

②連結キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億19百万円減少の32億81百万円（前連結会計年度比8.9%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億40百万円（前第2四半期連結累計期間は4億68百万円の資金獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益2億46百万円、仕入債務の増加額4億94百万円及び売上債権の増加額6億18百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億29百万円（前第2四半期連結累計期間は2億77百万円の資金使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出3億58百万円と有形固定資産の売却による収入1億31百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億30百万円（前第2四半期連結累計期間は4億34百万円の資金獲得）となりました。主な要因は、長期借入の返済による支出1億38百万円と配当金の支払額50百万円及びリース債務の返済による支出51百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想については、平成29年5月12日に公表したのから修正いたしました。詳細は本日別途公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,720	3,401
受取手形及び売掛金	2,583	3,202
商品及び製品	943	992
仕掛品	50	57
原材料及び貯蔵品	248	280
繰延税金資産	79	82
その他	31	28
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	7,645	8,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,836	2,167
機械装置及び運搬具（純額）	452	565
土地	3,591	3,583
リース資産（純額）	255	272
その他	166	44
有形固定資産合計	6,302	6,633
無形固定資産	78	65
投資その他の資産		
投資有価証券	2,452	2,726
繰延税金資産	352	261
その他	394	388
貸倒引当金	△160	△159
投資その他の資産合計	3,037	3,217
固定資産合計	9,419	9,916
資産合計	17,064	17,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,205	2,788
短期借入金	4,402	4,390
未払法人税等	73	117
賞与引当金	192	193
その他	680	742
流動負債合計	7,553	8,234
固定負債		
長期借入金	705	588
役員退職慰労引当金	294	301
退職給付に係る負債	2,052	2,018
その他	206	252
固定負債合計	3,258	3,161
負債合計	10,812	11,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	1,368	1,473
自己株式	△79	△79
株主資本合計	5,484	5,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	892	1,076
退職給付に係る調整累計額	△125	△114
その他の包括利益累計額合計	767	962
非支配株主持分	0	0
純資産合計	6,252	6,551
負債純資産合計	17,064	17,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,517	13,105
売上原価	10,896	10,654
売上総利益	2,620	2,450
販売費及び一般管理費	2,415	2,342
営業利益	204	107
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	21
不動産賃貸料	28	28
その他	23	16
営業外収益合計	72	65
営業外費用		
支払利息	37	33
不動産賃貸費用	-	13
その他	0	0
営業外費用合計	38	46
経常利益	239	126
特別利益		
有形固定資産売却益	-	120
特別利益合計	-	120
特別損失		
有形固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	239	246
法人税、住民税及び事業税	98	92
法人税等調整額	△32	△0
法人税等合計	66	92
四半期純利益	173	154
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	172	154

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	173	154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	183
退職給付に係る調整額	12	11
その他の包括利益合計	△107	194
四半期包括利益	65	349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65	349
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	239	246
減価償却費	219	216
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	△18
受取利息及び受取配当金	△20	△21
支払利息	37	33
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△120
有形固定資産除却損	0	-
売上債権の増減額(△は増加)	△4	△618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16	△88
仕入債務の増減額(△は減少)	197	494
その他	△16	60
小計	675	192
利息及び配当金の受取額	20	21
利息の支払額	△36	△29
法人税等の支払額	△191	△44
営業活動によるキャッシュ・フロー	468	140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	50	-
有形固定資産の取得による支出	△333	△358
有形固定資産の売却による収入	2	131
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
無形固定資産の取得による支出	△2	△0
その他	13	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	10
長期借入れによる収入	900	-
長期借入金の返済による支出	△155	△138
リース債務の返済による支出	△59	△51
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△50	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	434	△230
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	624	△319
現金及び現金同等物の期首残高	3,177	3,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,801	3,281

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,113	7,403	13,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,113	7,403	13,517
セグメント利益	414	86	500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	500
全社費用(注)	△296
四半期連結損益計算書の営業利益	204

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,792	7,312	13,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,792	7,312	13,105
セグメント利益	263	107	370

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	370
全社費用(注)	△263
四半期連結損益計算書の営業利益	107

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。